

### 第3号議案 第23期（2021年度）事業計画

災害支援関連では、コロナ禍の状況次第ではあるが、東日本大震災をはじめ、西日本豪雨災害や令和2年7月豪雨などの被災地支援・交流について、継続の可能性を探っていきたいと考えている。東日本大震災関連では、2021年3月11日に震災から10年を迎えたが、11年目も岩手県野田村や福島県郡山市での取り組みや、地元西宮の県外避難者を対象に実施しているKSN（関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）による交流行事も継続予定である。西日本豪雨災害では岡山県倉敷市真備町での仮設支援や、令和2年7月豪雨災害の被災地、熊本県人吉市と球磨村の写真洗浄活動などについても、現地訪問を含めできる限り取り組んでいければと考えている。また、南海トラフ巨大地震など新たに大規模な災害が発生した場合は、近畿ろうきん社会貢献預金「笑顔プラス」制度を活用して活動可能な範囲で迅速な対応をしていく。そして、新型コロナウイルス感染症まん延時の被災地支援を想定した感染症ガイドラインの作成を行うと共に、大阪大学など他団体とも連携しながら被災地支援について模索していきたい。

平常時の活動については、これまでの①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱を中心に展開していく。特に、今年度はNVNAD役員&事務局が中心となって、自治会やコミュニティ協会などを対象に、まちごと防災セミナーやNVNADセミナーなど「セミナー検討会」をはじめ、「財源対策検討会」や「コロナ禍での災害支援ガイドライン検討会」、あるいは「被災地特産品販売検討会」などのテーマで新規プロジェクトを立ち上げ、財源確保を含め事業を検討していきたいと考えている。

その他、チャリティカレンダー市の代替策について検討したり、大阪大学の未来共創センターの「災害ボランティアラボ」とも連携して、防災ピクニックや農業体験などの企画にも参画していければと考えている。